

とっとり防災フェスタ 2023 報告 (伊藤)

令和 5 年 (2023) 9 月 10 日 10 時~15 時

<展示型訓練>鳥取県鳥取市「鳥取港」及び「鳥取漁港」周辺

<展示ブース設置等>わったいな・かにっこ館周辺

<参加機関>

鳥取県、鳥取県東部市町、鳥取県警察、鳥取県東部広域行政管理組合消防局、自衛隊、その他防災関係機関 等

<訓練概要>

大地震の発生により、鳥取市を中心とした県東部の広範囲に被害が発生したと想定し、関係機関が連携した救助訓練等を実施します。

<テントブースへの展示>

下図の 1 番 (赤囲み) が鳥取県支部のブース



●技術士会の展示内容

○×式防災クイズ (10 問)、正解数により景品を渡す

満点賞 (10 問正解)、2 等賞 (9 問~5 問正解)、参加賞 (4 問以下)

実験の実施

空気砲、橋を作ろう、発電実験、

クイズ関連のパネル展示

(バンド演奏は今回中止)

参加者：平尾、西村、河本、村下、山口、片山、舞立、砂口、桑本、伊達、伊藤

●反省等

新型コロナ感染のため、2019年倉吉会場開催以後の一般参加による会場開催となった。晴れの天候の中、午前中から陽射しが強く気温が上昇していた。10時開催前から一般客がテントへと訪れて、にぎやかに開会された。

クイズ、実験には親子連れの来訪者が次々と来られ、なかなかの盛況であった。クイズ参加者は約190名あったが、午後2時頃には景品が底をつき、クイズの用紙が余ってしまった。来訪者は午前中が多く、昼頃から午後にかけては少なめとなっていた。

- ・技術士会の参加者は10名程度で十分回せる

- ・今回の1ブースはテントの半分であり、来訪者の動線などを考えるとやはり2コマ必要である

- ・パネルには古いものも多く、字も小さく文章が長いことから、また技術士会紹介パネルは鳥取県技術士会のものであり修正が必要

- ・技術士会として独自の展示や実験などについて、検討してみる必要はないか

(河川課、治山砂防課、鳥取大学の実験は参考になるが、災害時の避難や災害後の対応についての観点から何かできないだろうか。

⇒ハザードマップの展示と解説（開催場所近辺ごとに作成しては）

⇒災害後の相談場所や手続き

⇒親子で災害時の避難場所などの話し合い、家庭での防災についての話の奨励など



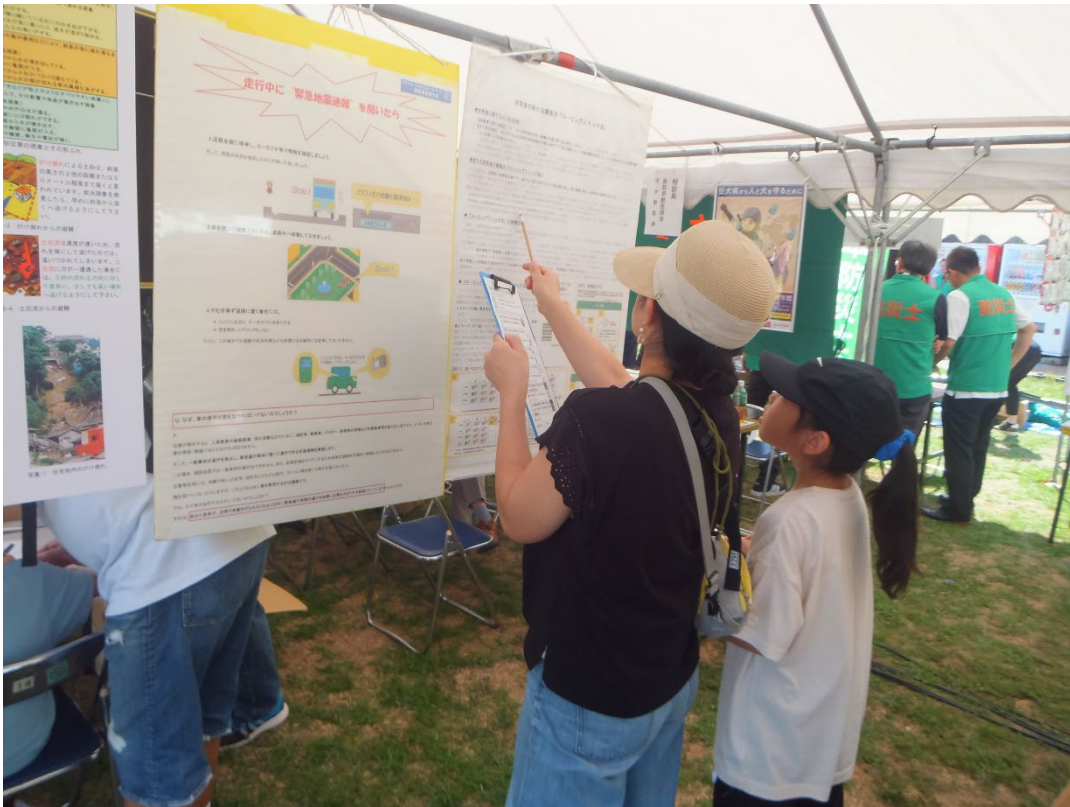
オープン当初から来客あり



空気砲も好評



クイズの採点と景品をいただく



親子でクイズを考える



橋を作りましょう



橋を作りましょう



発電してみましよう



景品渡しも暑い



他のブースも人がいっぱい



広場からのテントブース



そろそろ終了時間です。技術士会ブースは片付け完了



鳥取県河川課のブースでの実験、水を流してダム調整機能



鳥取県治山砂防課ブースでの実験、土石流模型、重機をラジコン操縦



ステージでの知事表彰式



わったいな前のブース群